



一人ひとりが「できること」を「できる分」

連載 支部インタビュー ～あなたの支部のこと聞かせてください～

第2回 羽田航空支部

身近に相談できる場所へ

羽田航空支部では、時代や組合員が求める「組合」となるよう改革を行っています。第一段階として、まず支部役員意識改革を行っています。とりくみにグラデーショ

ンをつけるため、「ほうれんそう」、「こまつな」、「きくな」、「ちんげんさい」を合言葉に、とりくみ方針として「いたしません5箇条をかかげています。これによって、まずは、役員自身が組合をより身近に感じられるよう、期待しています。一人ひと

りの役員が、「できること」を「できる分」だけ行い、役員全員で協力し、達成していくプロセスのなかで、ひとつでもふたつでも共感できることがあれば良いと考えています。

「組合ってめんどくさい」「何をやっているかわからない」という負のイメージが積みまると、役員自身がそれを醸し出しては、絶対に次世代に繋がります。役員一人ひとりが、組合活動の中で、「楽しさ」や「達成感を見つけてもらい、それを広めて

羽田航空支部執行部の合言葉 ～コミットメントにグラデーションを！～

- ほうれんそう**
報告、連絡、相談
- こまつな**
困ったときは、つかえる人に、投げる
- きくな**
気にせず休む、苦しいときは言う、なるべく無理しない
- ちんげんさい** (※やっけてはいけないこと)
沈黙する、限界まで言わない、最後まで我慢

さらに、とりくむ方法も話し合っています。何でもかんでも過去と同じようなとりくみ方をしているのは、マンパワーも足りなくなり、「組合の本質」が見えにくくなってしまう

羽田航空支部は引き続き時代や組合員が求める「組合」となるよう改革を行っています。

集まりやすい時間にZoomを使って話し合い、活動方法を検討しています



羽田航空支部執行部のとりくみ方針

- 「いたしません」五箇条
- すべての課題に同じ力を注ぐことはいたしません
 - 役員は、一人でかかえこむことはいたしません
 - なにも得ないまま任期満了になることはいたしません
 - 役員間で忖度した意見や意志を述べることはいたしません
 - これまでと同様な活動をする気、全くございません

誰でも支部の役員に対して気負わず、負担にならない執行部を目指しています。

最後に、情報発信の仕方や内容についても検討を行っています。「この

支部役員紹介

～支部役員をつぶやき～

やまもと さやか
山本早哉香書記次長

まつざき あさよ
& 松崎麻代執行委員

(松崎) 山本さんは支部の役員やらないか？って声がかかった時、率直にどう思いました？
(山本) そりゃもう、「面倒くさいの来た！」でした。でも、いろんな意味で新しい出会いあるかも？という不純なメリットを自分について聞かせて、やりますと即答しました。私が快諾した後の、前任者の晴れ晴れした表情が忘れられない(笑)

(松崎) 私は、正直何も考えてませんでした(笑)一回くらいは経験してみても良いのかなあ程度です。でも、実際にやってみたら、正直最初は訳分からなかったです。分会で職場委員の経験しかなかったので、支部がどう立ち位置とか、どういう会議があるとか、本当に右も左もわからず、話についていくのに必死でした。

今月の「国交労組」

- 組合員のために「改革中」!!
- 「無関心」では済まされない
- 夏の「人勤」に向けて
- 見て学んで作ろう「機関紙」
- ポストつぶしで技術継承が危うい
- 羽田航空支部のニューノーマル
- 連載 支部インタビュー …1
- 参議院選挙にいこう …2
- 人事院勧告夏季闘争 …3
- 北海道航空支部「北空人」他 …4
- 建設部門 専門職種会議 他 …5
- 支部役員をつぶやき …6